

会 議 録

会 議 名		燕市健康づくり推進委員会		
事 務 局		健康福祉部健康づくり課		
開催日時		令和6年 2月 1日(木) 午後1時30分から午後2時50分		
開催場所		燕市中央公民館 中ホール		
出席者	委 員	齊藤委員、佐藤委員、外石委員、鈴木委員、坪川委員、遠藤委員、板谷委員、村澤委員、上澤田委員、玉木委員、車田委員、川瀬委員、田村委員、治田委員、本田委員、岩田委員、八子委員 【欠席】金山委員、高波委員、櫻井委員		
	事務局等	健康福祉部：本間医療主幹／健康づくり課：篠田課長、五十嵐参事、梅沢課長補佐、高野副主幹、高宮副主幹、河合副参事、小澤係長／保険年金課：近藤課長／長寿福祉課：梅田課長／社会教育課：石黒課長／子育て応援課：鈴木課長、吉川保健指導専門員		
公開可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合はその理由				
次 第		<p>1 開 会 梅沢課長補佐</p> <p>2 あいさつ 齊藤会長</p> <p>3 議 題 (1) 第4次燕市健康増進計画・第3次燕市食育推進計画 ・第2次燕市歯科保健計画(案)の策定について</p> <p>(2) 令和4年度燕市自殺対策計画の進捗状況について</p> <p>(3) その他</p> <p>4 閉 会 本間医療主幹</p>		

令和5年度 第3回燕市健康づくり推進委員会 会議録要旨

日時：令和6年2月1日（木）

午後1時30分から2時50分

会場：燕市中央公民館 中ホール

1 開 会 健康づくり 課長補佐	<p>皆様お疲れ様です。</p> <p>定刻となりましたので、これから令和5年度第3回健康づくり推進委員会を開催させていただきます。委員の皆さま方には、ご多忙のところお集まりいただきありがとうございます。</p> <p>本日、会議の進行役を務めさせていただきます健康づくり課課長補佐の梅沢と申します。よろしくお願ひいたします。</p> <p>会議に先立ちまして、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>(資料の確認)</p> <p>資料配布が遅くなり申し訳ありませんでした。</p> <p>本日の出席状況でございますが、金山委員、高波委員、櫻井委員、より欠席の連絡がありましたので、委員20名中17名の出席と半数を超えておりますので、健康づくり推進委員会規定第6条の2により、本会議は成立いたします。</p> <p>なお、本日は、健康増進計画等策定業務を委託している 株式会社 ジャパンインターナショナル総合研究所が、ZOOMにて参加しておりますのでお知らせしておきます。</p> <p>それでは、次第の2、齋藤会長より、ご挨拶をお願いいたします。</p>
2 あいさつ 会長	<p>皆さんお疲れさまです。</p> <p>本日は御参集いただきありがとうございます。</p> <p>また日頃から燕市の健康づくりの推進にご協力をいただき、感謝を申し上げます。</p> <p>本日は今年度3回目の委員会ということで、先に配られてます資料のように、来年度から新しくなる各種計画の最終案についての説明と、令和4年度の燕市自殺対策計画の進捗状況についてということで、御説明があるかと思ひます。</p> <p>委員の皆さん方からも何か御意見あれば伺いたひと思ひますので、本日はよろしくお願ひいたします。</p>
健康づくり 課長補佐	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次第の3の議題にうつらせていただきます。進行につきましては、規程第6条に基づきまして、齋藤会長にお願ひいたします。</p>
3 議題 議長	<p>それでは議題の1の方ですが事務局の方お願ひいたします。</p>

事務局 健康づくり 課参事	<p>それでは私の方から、資料1について説明させていただきます。</p> <p>《事務局：資料1について、第4次燕市健康増進計画、第3次燕市食育推進計画、第2次燕市歯科保健計画（案）について、昨年12月22日開催の議員協議会において素案を説明し、議員の皆様から御意見や御質問をいただいたこと。12月25日から1月17日まで実施したパブリックコメントでは、市民の皆様から御意見や御質問はなかったこと。健康づくり推進委員の皆様からの御意見等を踏まえ、修正を加えた最終案を資料に基づき説明》</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今の説明につき何かご意見はありませんでしょうか。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
委員	<p>86ページの、平均寿命と健康寿命の差ということで、明記をされておりまして、令和13年度については縮めるということで、ありますけれども、先ほど説明の中で、女性の3.3から3.4に変更いたしますということなんですけど、その意味が分かりません。</p>
事務局 健康づくり 課参事	<p>御質問ありがとうございます。</p> <p>資料1-3追加、平均自立期間についてはKDBシステムで出しておりました。</p> <p>もともとの計画の中ではそれと、平均寿命ということで、5年に1回、国勢調査とあわせて算出される生命表をもとにする平均寿命との比較ということでやっておったんですが、それにしますと、計画は毎年評価を加えていく必要がございます、5年に1回しか平均寿命が出ないという、(困った)事態がございました。</p> <p>また、そもそもなんですけれども、差を見るときに、数値元が、生命表とKDBシステムではなくて、市町村で、パソコンから簡単に算出できる、KDBシステムの方で、平均自立期間と、平均余命を出した方が毎年見れますし、比較するには同じ、データベースの中でのになりますので、そのようにしたいと思います。</p> <p>そうしたときに、もともとの生命表の平均寿命と、KDBシステムで出てくる平均余命というのは、やはり出し方、算出の仕方が少し異なるもので、そもそもの、平均寿命の年齢が異なるためにその差を計算したときに、数字が変わったという、すみません分かりにくい説明なんですけど、このような形でよろしかったでしょうか。</p>
委員	<p>はい。ありがとうございました。わかりました。</p>
議長	<p>他はよろしいでしょうか。</p>

委員	<p>直近の言葉の定義を確認してないんですけど、平均余命というは何歳における平均余命という使い方が今までされてきたと思うんです。</p> <p>私の経験上、いきなり何の修飾語もなく男性の平均余命はって言うと、ちょっと違和感があるんですけど、その基になったデータで、そういう言葉を使ってることで、0歳児の平均余命は平均寿命だと思うんですけど。</p>
事務局 健康づくり 課参事	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>はい、おっしゃるとおりで0歳の平均余命が平均寿命という形になるのですけれども、KDBシステムの方をよく調べますと、KDBシステムでも平均寿命ということで、数値を出してはおるのですが、その出し方が平均自立期間を出すときのデータの使い方等々と異なるらしく、注釈で、KDBシステムにおける平均寿命と平均自立期間を比較してはいけませんということが書いてあって、それで厚生労働省のホームページとかを確認してみたのですが、便宜的に平均自立期間と平均寿命の差をKDBシステムで調べるときには、今も話題になってます、平均余命と、比べるとよいというのが書いてございまして、KDBシステムで出るその平均余命と平均自立期間を比較することで、その差が出てきて、その差を縮めることが健康増進計画の目標であることが書いてあるというような形になってまして、すいません分かりにくい説明なんですがいかがでしょうか。</p>
委員	<p>出典がそうなっているのは理解しました。</p> <p>ただ、いろんな公衆衛生の学者さんとか、いろんな自治体のこういう計画を比較したりする機会があると思うと、やっぱり、さっきの私のような疑問を持つ方が多いと思うので、どこかに注釈というか解説を入れておかないと、混乱するかなと思いました。以上です。</p>
事務局 健康づくり 課参事	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>注釈を入れることを検討したいと思います。</p>
議長	<p>他はいかがでしょうか。</p> <p>では続きまして、議題の(2)令和4年度燕市自殺対策計画の進捗状況についてということで、御説明をお願いします。</p>
事務局 健康づくり 課副参事	<p>それでは、令和4年度燕市自殺対策計画の進捗状況についてご報告いたします。</p> <p>《事務局：令和4年度燕市自殺対策計画の進捗状況について説明》</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今の説明につき何か御質問、御意見ありませんでしょうか。</p>
委員	<p>今日、御紹介いただいたのはどこまでこの協議会で意見してもよろしいものなのでしょうか。自殺対策の方の計画の協議会でいろいろ具体的に検討されているという、別な組織があるわけで、この健康づく</p>

	<p>りでいろいろ思うところがあるのですが、どこまで話してもよろしいものですか。</p>
<p>事務局 健康づくり 課 課長</p>	<p>ご意見等ありましたら、この場に出していただきましてまた協議会にかけなければならない内容があった場合は、協議会の方でも検討していきたいと思いますが、ざっくばらんに出していただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>伺わせていただいたのは感想ですか、すこし思ってることを発言させていただきますがよろしいでしょうか。</p> <p>私、実は別なところでの、自殺対策協議会のメンバーになっている立場で、傾向は同じなのだと思って拝見させていただきました。</p> <p>前段の燕市の自殺の現状ということで、本年度、令和3年度とか、やっばすごく凸凹があるときに、すごく低くなって減ってよかったなああって思っていたところが、自殺された方は少なかったのだけれど、でも、いろんなところでの相談されている件数がものすごく増えていたっていうのがあって、それぞれ、相談に関わってらっしゃるところがいかにも、努力されて、何て言いますか、思いとどまっているというか何かしらサポート出来ているおかげで、自殺者数が減ったのかしらねみたいなのうな解釈をしている年がありました。</p> <p>ただその次の年にまた増えて、そのときに、思いとどまった方がずっとそれが解決出来ずに、次の年になって自殺されたのかなとかいろんなこの数値の解釈の仕方ですね、これをどういうふうに解釈したらいいのかというの、何か共有しておくといいのかなと思いいこのグラフを拝見させていただきました。</p> <p>それと、今最後に御紹介くださった今後の対応策のところ、広くPRするのと、それから、リスクが高い人をどうやってフォローするかっていうこと、大きく二つの視点で、考えるといいのかなと思いいながら伺っておりました。ですので、広くPRするのと、とにかく18の団体が協議会のメンバーになられているっていうことですので、すごく何ていうかフォローする、サポートする、網の目はすごく細かく張ってるのだらうなと思って伺ったんですけど、その相談をされた方をどこにつなげるとか、このつなげ方とか、何か相談されたこと絶対、その先の行為にならないようにどうやってフォローしていくかっていうところもすごく大事なんだらうなと思って伺ったので、本当にその相談機関の連携状況ですとかその辺ちょっとお伺いしたいなと思います。</p>
<p>事務局 健康づくり 課副参事</p>	<p>はい、そうですね実は、市でできる自殺対策としてはやはり周知をしていくことと、心配な人のフォローというところがあるのかなというふうに思っております。このリスクの高い人のフォローにつきましては、一つはまず、医療との連携というものがあるかとは思っており</p>

	<p>ます。既に受診されている方につきましては医療機関との調整をしていたり、あと燕市は直営で、基幹相談支援センターがありますので、そこと連携しながら、介入するというような場合もあります。</p> <p>あと、保健所も含めまして自殺対策の連絡会とか情報交換会とかがありますので、他市町村の好事例とかを聞きながら、そういうところと手を組んでいくといいんだなというようなことは、お互いに情報交換しながらやっております。</p> <p>やはり一番は他課との連携、どこかに相談に入ってくれたというところが分からないので、この自殺の対策推進会議、18 団体ありますが、その前段に、市役所内に、自殺対策の庁内連携会議がありまして、窓口を持っている課との連携が年 1 回必ず設けられております。</p> <p>そこで、どういう現状があるかというようなところを共有し合い、またその中で、こういう人がいると対応に悩むんだよねっていう声があった場合には、ぜひ保健センターにつないでくださいとか、そういう人が来たら生活保護の方につないでくださいということで、顔が見える連携をやはり強化していくことがまず一番かなというふうに思っておりますので、それを今後とも続けていきたいと思っております。</p>
委員	はい、ありがとうございました。
議長	相談された方のその後のフォローも重要だということです。他よろしいでしょうか。
委員	意見というわけではないのですがちょっと訂正をお願いしたいのですが、資料 2-3 の裏側で、右側、自殺対策推進会議の意見のところ、1 番上の①で社会福祉協議会で LINE 相談ということがありますが、これは月 3 回になってるんですが、基本的には毎日、24 時間 365 日受け入れるんですが回答が就業時間中に行っているということですので、回数で言いますと特に月何回とかいうことはなく、常時受付しているというようなことになります。
議長	<p>他はいかがでしょうか。</p> <p>私のほうから 1 点質問なんです、図 1 の燕市の自殺死亡率のところ、新潟県はだいたい全国より自殺率が多いということで、燕市は人口少ないので上下して、ちょっと評価がよく分からないんですが、市としては、燕市の自殺率どのようにとらえていますか、普通なのか、どういうふうに考えたらよろしいでしょうか。</p>
事務局 健康づくり 課副参事	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>多いか少ないかと言われると、難しいところではあるのですが、折線グラフでいきますと平成 26 年のときなどは、人口 10 万対は燕市、13.7、で減るときもあると思うと、もしかしたら減る余地はあるのかなというふうには考えております。ただ自殺というのは社会情勢等々も、複雑に絡み合っておりますので、単純に減らせますっていうこと</p>

	<p>がちよつとなかなか言えない問題ではあるかと思いますが、少しでも自ら死を選ぶという悲しい出来事が減るといいなと思いながら、周知をしていったり、ハイリスク者へのフォローを続けていきたいと思っております。</p>
議長	<p>分かりました。</p> <p>同じぐらいの人口、行政間で何か比較できるような指標があればいいかなと思うんですが、なかなかそれはないのですね。</p>
事務局 健康づくり 課副参事	<p>そうですね、同じ人口規模のところだと単純な毎年毎年の自殺死亡率というものを比較はできるかと思うんですが、傾向というのは比べきれないかもしれないんですけど、同規模市町村のものとも比較して、燕市の現状を把握していきたいと思っております。</p> <p>御意見ありがとうございます。</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>あと自殺対策っていうことを推進していくためには職場とか企業、職域との連携というのは重要になってくると思うのですが、この辺を踏まえまして、何か御意見とかございませんでしょうか。</p>
委員	<p>職場のですね、今、健康経営という中にそういった、施策、メンタルの件とかもありまして、やはり、会議所の場合、そういう健康経営というものを、今、事業者様に進めているところでありますので、そういったところで、皆さんが、メンタル面についても事業主様が、そういうのを理解されて、従業員さんに、少しでも寄り添っていただけるような、そういう取組を、会議所としては、直接的ではなく、間接的になるかもしれませんが、少しずつ、やっていきたいなというふうな、ことを考えているところであります。</p> <p>なかなか、心のケアっていうのは難しく、やはり事業主様としても、いろいろフォローが難しいのではないかなというのを個人的には思っておりまして、そういったところを連携して、対策できるかなと思います。</p>
議長	<p>ゲートキーパーとか、行政、各職場で養成していきたいところなのだと思うのですが、こころの健康スワロー運動も進めて行ければと思います。</p> <p>あと、なにかご意見ありませんでしょうか。</p> <p>職場での対策的な事とか、職域の連携とか</p>
委員	<p>そうですね。</p> <p>表じゃない、ところにも、ちょっと載ってましたが経営者はメンタルが強い方が多いという印象なので、従業員が弱っているということに気が付かないことがあるかもしれないなんていう文章があります。</p> <p>けれど、今、若い人たち、仕事もなかなか続かない人もたくさんいらっしゃるんですけど燕市では工場働いてる人が多いと思うんですけ</p>

	<p>ど、なかなかこう、人とのコミュニケーションっていうよりも、1人で仕事も自分でやらなくてはいけないものを抱え込んでやったり、うち、息子もそういうところで働いて、よく愚痴をこぼしていますけれど、会社に相談する人がいないって、上司も、お前に預けた仕事は自分で何とかやってみなさいみたいな、投げやりな感じで仕事を任されたりすることもあるらしいという話も、耳に入ってくることもありますので、やっぱりこの経営者の方をもう少し、従業員に目を向けられるような方法で、講座を開くとか、そういうのがあってもいいのかなあと思うところと、あとは、気持ちの弱い若者たちにもう少し前向きにいろんなことができる、希望が持てるような、そんなシステムができると、交流が持てるとか、自分の思っていることを、もっと吐き出せる機会があるとか、そういうような場所が増えていくといいんじゃないかなあと思いながらお聞きしておりました。</p>
議長	<p>はい、貴重な御意見ありがとうございました。 他よろしいでしょうか。 自殺に関しての対策ですけど、ないようでしたら、次の(3)、その他のほうに行きたいと思います。 こちらは事務局の方お願いします。</p>
事務局 健康づくり 課参事	<p>はい、お願いします。 すみません。ここで資料の修正をお願いしたいと思います。 資料1-3、追加、という一枚紙ですね、そちらの方、御用意をお願いいたします。 こちらを見ていただきますと、新旧対照表になっておりまして、このナンバー26の箇所の修正後のところを修正いただきたいと思うんですが。 こちら、修正前が令和2年度、修正後が令和4年度だったんですが、こちらの方で、平均余命だけを修正して平均自立期間を修正してなかったんで、そちらの方、これから申し上げる数値に、お手数ですが、修正をお願いいただきたいと思います。 これは修正後のところの2行目ですね、平均自立期間は、79.2歳とありますが、これを79.5歳に修正いただきたいと思います。 79.5歳でその差はというところなんです、ここ1.5歳に修正をお願いいたします。 続きまして4行目の女性の平均自立期間なんですけれども、83.9歳とありますが83.8歳、その差は3.5歳ということで、修正をお願いしたいと思います。 同様なんです、裏面を見ていただきますとそちらにも修正後のところに、男と女の差が書いてあるんですけれども、男は1.5歳、女は3.5歳、ということで同様に修正をお願いしたいと思います。 おわびして修正させていただきます。</p>

	<p>そしてもう一点、追加で、先ほどいただいた御意見に対する、回答なんですけれども、平均余命の考え方について、いま1度、KDBシステムを運用している国保連合会の資料を確認いたしました。</p> <p>そうしましたらこちらに記載がありましたのが、先ほど●●委員もおっしゃられたようにまず平均余命のことが書いてあり、平均余命はある年齢の人が、その後何年生きられるかという、期待値をさし、平均自立期間の比較対照の値として、ここではということで、0歳時点の平均余命を示すこととするということであったので、0歳時点の平均余命だと、今度は平均寿命のような気もするんですが、こちらの国保連合会のKDBシステム上としましては、ここで用いている平均余命というのは0歳時点の平均余命という注釈がございましたので、これを分かるように、書き加えようというふうに考えております。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>つづきまして、お知らせがございますのでお願いいたします。</p>
事務局 健康づくり 課副主幹	<p>私のほうから、健康づくりマイストーリー運動10年イベントの御案内をさせていただきます。</p> <p>《事務局：その他の説明資料について説明》</p> <p>これからPRをしていく予定ですが、委員の皆様も、ぜひお越しただけたらと思います。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>はいありがとうございました。</p> <p>今のことに关しましてなにか、御質問ありませんでしょうか。</p> <p>今日の内容全体についてもいかがでしょうか。</p> <p>はいどうぞ。</p>
委員	<p>この「磨け輝け元気プランつばめ」という皆さんの御意見した中で、一部訂正がありましたけども、次の修正して、実際には、今年の4月から始まるんですね。</p> <p>そうしたときに、私は分かりませんが、このつくった大切なこの計画というのは、議会を通し承認していただいて、そして実際に実施に当たるといふように考えているんですけども、市民の皆さんにどういふふうに通達するのですか、それをお聞かせいただきたい。</p>
事務局 健康づくり 課参事	<p>ご質問ありがとうございます。おっしゃられるとおり、3月の議会の承認を経て、市民の方々には公開するような形になります。</p> <p>具体的には燕市公式ホームページに健康増進計画のデータを掲載させていただき、それだけでは気づかない方もおられるかもしれませんので、健康づくり3団体ということでもともに計画を推進しております保健推進委員や、食生活改善推進委員、元気磨きたいなどの団体、に周知を図ったり、あらゆる機会をとらえて、市民の方たちには、公開をしていきたいというふうに考えております。</p>
議長	<p>他はよろしいでしょうか。</p>

	<p>特にならなければならぬ以上をもちまして議題の方を終わらせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p>
事務局 健康づくり 課課長補佐	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは最後に、次第の4閉会の挨拶を本間医療主幹の方からお願いいたします。</p>
主幹	<p>(医療主幹の本間でございます)</p> <p>本日は長時間に渡りまして、ご議論、御指導いただき大変ありがとうございます。</p> <p>この計画につきまして、今後8年間の長いスパンになりますけれども、実は今回の計画をつくるに当たってですね、どうしても前の計画の終わりの方、コロナ禍でありまして、どうしても保健事業の根幹をなしている検診が、大分落ち込みを見せました。</p> <p>今も改善に取り組んでいるところなんですけれども、なかなかこの辺を含めた、対策がこれからやっぱり急務となってきますので、この前地震もございまして、やっぱり SNS を活用した取組ってというのは非常に重要と思う、やはり市の情報を、ピンポイントに伝えていくということが非常に重要な気がしておりますので、去年はですね、新たな LINE を開設しまして、新しい先ほど自殺の話も出てましたが、生きづらびとっとというサイトと連携をさせていただきまして、相談をしやすい体制をつくってきております。</p> <p>それと、一番やはり大きな問題はですね、超高齢化です、どうしても、新潟県は全国よりもやはり高齢化が進んでおりまして、燕市は少ないほうから、県内3番目、聖籠、新潟市、燕市、幾分はいいんですけども、いずれにしても、高齢者の方々がだんだん多くなってその比率が多くなるという時代になってきます。</p> <p>実は、医師会さんの方も、仮のネーミングなんですけど、転ばぬ先の医療推進会議という医師会の先生方、あと介護の担当の方で今議論しております。</p> <p>何をやるかといいますと、かかりつけ医を持たない人のセーフティネットの構築ですとか、あと在宅医療を強化し、ということで、医師会さんの話もありまして今、協力をしながらよりよい体制づくりに議論を進めているところでございます。</p> <p>その辺の方向性等が決まりましたら、皆様方に、いろんな方法でお伝えさせていただきたいと思っております。</p> <p>また、両輪の医療のほうも、2月4日、ついに県央基幹病院が竣工式になります。3月1日から開院を迎えますし、多分1か月後ぐらいにはですね、私どもの地元の唯一の病院でございます県立吉田病院が指定管理に移行するということになりますし、建て替えも控えております。</p> <p>そこが、私どもの今、議論をしている中の連携の相手方となると思</p>

	<p>いますので、県、指定管理者含めてですね、その辺も有効な連携を考えていきたいと思っております。</p> <p>皆様方の御協力なしには燕の健康は成り立たないと思っておりますので、また今後ともよろしく願いいたします。</p> <p>本日、長い時間ありがとうございました。</p>
<p>事務局 健康づくり 課長補佐</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。</p> <p>なお、今年度で、皆さん委員の任期の方が終了することになります。3月に入りましたら、更新のために依頼文書を各所属のほうへお送りしますので、出来ましたら皆様のほうから再任お願いしたいと思っておりますので、よろしく願いします。</p> <p>今日は大変ありがとうございました。</p>